

陳情第148号

令和8年 4月15日

川崎市議会議長 原 典 之 様

高津区在住者

ほか 883名

井田病院への乗り継ぎなしのバスの運行に関する陳情

陳 情 の 要 旨

井田病院と久末・蟹ヶ谷地域を結ぶ乗り継ぎなしのバスの運行を求めます。

陳 情 の 理 由

久末、蟹ヶ谷地域は、市営住宅だけで8か所、県営住宅3か所など団地が集中しています。しかも高齢化率が極端に高く、市営大谷住宅で70%、市営久末住宅で61%など近隣の市営住宅における高齢化率は平均で49%となっており、市の20.4%の2倍以上にもなっています。しかし、路線バスが少なく、特に最も近い市立病院である井田病院までは、通常、乗り継ぎが必要で、タクシーでは往復3,000円近くかかります。

団地の多くの市民の方から、「井田病院へ乗り継ぎなしのバスの運行」は強い要求となっています。確かに乗り継いで行けば井田病院まで行けますが、高齢者にとって乗り継ぎはきつく、雨の中待ってられないという声も多いのが実態です。蟹ヶ谷から井田営業所までは1日当たり41本、市営久末住宅から井田営業所までは1日当たり4本のバスがあります。このバスのうち数本、井田病院まで延長してもらえないでしょうか。乗り継ぎなしのバス便を増やすことは、井田病院にとっても利用者を増やすことにつながります。ぜひ、井田病院と久末、蟹ヶ谷地域を結ぶ乗り継ぎなしのバスの運行を要望します。